

「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」から見る

みしまの子どもたち

全国学力・学習状況調査は、毎年小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に行われている調査です。全国的に児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。

実施日 4 月 19 日(火)

対象 市内すべての小学校 6 年生と中学校 3 年生

調査内容 教科に関する調査（国語、算数・数学）、生活習慣や学習環境などに関する質問紙調査



教科（国語、算数・数学）の調査から

小学校 すべての教科で、全国の平均正答率を上回り、さらに国語 B、算数 A・B は、県の平均正答率を上回る結果となりました。

中学校 すべての教科で、全国・県の平均正答率を上回りました。

凡例	平均正答率が
	0.1～2%低い
	0.1～2%高い
	2.1～4%高い
	4.1～6%高い
	6.1～8%高い

	教科	全国平均正答率との比較	県平均正答率との比較	概要
小学校	国語	A		全国より高く、県よりやや低い
		B		全国・県よりやや高い
	算数	A		全国より高く、県よりやや高い
		B		全国・県よりやや高い
中学校	国語	A		全国より高く、県よりやや高い
		B		全国よりかなり高く、県よりやや高い
	数学	A		全国より極めて高く、県よりかなり高い
		B		全国より極めて高く、県よりかなり高い

生活習慣や学習環境等の調査から

生活や学習に関する質問紙調査からは、全国や県と比較して、次のようなことがわかりました。

●みしまっ子のすてきなところ

- ・自分には良いところがあると思う子の割合が高い
- ・人が困っているときは、進んで助けている子の割合が高い
- ・週に1回以上、学校図書室や地域の図書館を利用している子の割合が高い
- ・先生が、自分の良いところを認めてくれていると思っている子の割合が高い

●みしまっ子の伸ばしたいところ

- ・家で、授業の復習をすること
- ・家で、自ら計画を立てて勉強をすること

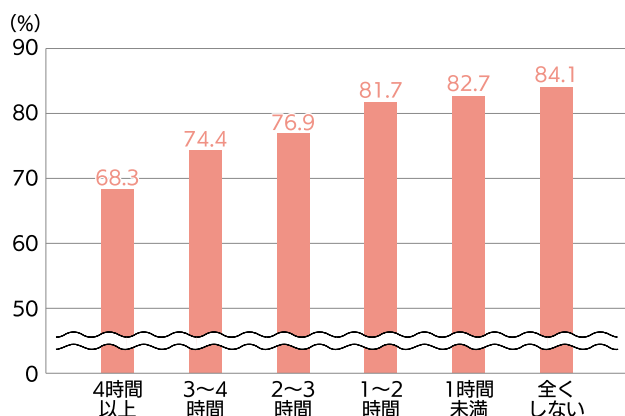
●みしまっ子の伸びているところ

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子の割合が高くなっている
- ・毎日同じくらいの時刻に寝ている子の割合が高くなっている

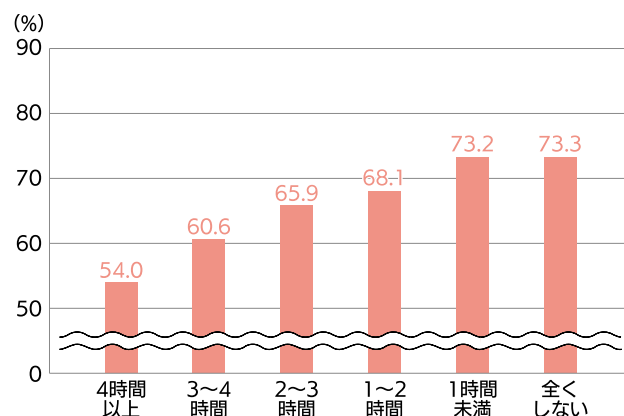
生活・学習習慣が学力に与える影響

生活や学習に関する質問紙調査の結果と学力の関係を分析してみると、次のような子どもたちは、各教科の平均正答率が高いことがわかりました。

- ・1日あたりのゲームをする時間、携帯電話やスマートフォンを使用する時間が少ないまたはしない子
- ・家で、学校の宿題をしている子
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる子
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしいと感じたことがある子



▲1日あたりのゲーム時間の回答ごとの平均正答率（小学生・算数A）



▲1日あたりの携帯電話・スマートフォン使用時間の回答ごとの平均正答率（中学生・数学A）

現在、回答の傾向をより詳細に分析しています。詳しい分析結果は、市ホームページと、小・中学生の保護者向けのリーフレットでお知らせします。（いずれも12月中旬予定）

問合せ 学校教育課（☎983 - 2671）